



# ～広げよう、地域に根ざした思いやり～



## 新メンバー紹介と活動報告

| 氏名    | 担当地区            | 任期                  |
|-------|-----------------|---------------------|
| 飯利 初江 | 中新田             | 平成24年4月1日～25年11月30日 |
| 栗原 展代 | 中の二、本郷東、本郷西、本郷台 | 平成24年7月1日～25年11月30日 |

5月中旬から民生委員・児童委員が担当地区の家庭を訪問しPRカードを配布しました。また、町内の危険箇所には手作りの看板を設置しました。

6月17日の福祉のふれあい広場では、模擬店とバザーを行い売上金の一部を社会福祉協議会に寄付しました。7月6日には、「親子で遊ぼう“七夕”星に願いを☆」を開催し、親子で楽しめたという嬉しい感想を多くの方から頂きました。町民の皆さまのご協力に感謝いたします。

### 「民生委員・児童委員はいつもそばにいます」



危険箇所に看板を設置しました



「親子で遊ぼう」を開催しました

まつぶし緑の丘公園フリーマーケット&古着の回収

## 人権 それは愛

問合せ／教育文化振興課 ☎990-9011  
企画財政課 ☎991-1815



今月は「松伏町小・中学校人権作文集 - 第6集 -」の作品の中から、小学校4年生の作品を紹介します。

### わる口

わたしは、一年生の時、Aくんが大きかったです。いつも人のわる口を言っていたからです。そして、わたしもわる口を言われた事があります。わたしは、とてもいやな気分になりました。とてもくやしくなりついにわたしも、わる口を言うようになってしまいました。自分では、(人がいやがることは、してはいけない。)と、ずっと思っていました。だれかにわる口を言われると、すぐにわる口を二倍にしてかえしてしまいます。

けれど、心の中では、(みんなとなかよくしたい。)と、ずっと思っていました。(なんで、わる口をすぐ言ってしまおうだろう。)ずっと考えているとAくんがうかびました。わたしは、自分のわるい所を人になすりつけようとしていたのです。(Aくんがいたから...)。ずっとあたまの中でAくんがうかびます。

わたしは、いつも自分がかんぺきな事をのぞんでいました。なのでつい、人になすりつけてしまいました。けれど、わたしも、自分のわるいことに気がつき、今では、わる口もあまり言わなくなり自分がわるいことに気がつくと、「ごめんね。」と、あやまることにしています。

この人権作文は、児童・生徒のみなさんに、人権や差別について考えていただき、他人の心の痛みがわかる、差別のない・許さない・見のがさない人になってほしいと願がって作成されています。

◆日時／9月2日(日)午前10時～午後3時  
◆問合せ／フリーマーケット・石塚 TEL 090・6170・3001  
◆その他／古着は、「わらしの会」に寄付